

## 第17回 ちゅうでん教育振興助成（平成29年度）

### 報告書資料 一般 - 109

学校名・団体名	土佐清水市立中浜小学校
HPアドレス	<a href="http://www.kochinet.ed.jp/nakahama-e/">http://www.kochinet.ed.jp/nakahama-e/</a>
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	「みんな来てや！まるごと土佐清水」CM作成
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>本校は今年度をもって休校となる。最後の一年間を子どもと教職員、保護者、地域と共に記念に残る一年にしようと、「みんな来てや！万次郎のふるさとCM作成」に取り組む。観光業・水産業で栄えた本市も少子高齢化、人口減少の波には逆らえず、水産業の後継者不足、観光業の衰退とかつての賑わいが今の土佐清水市には感じられない。しかし、四国の最南端に位置する土佐清水市には、足摺宇和海国立公園があり足摺半島から竜串海岸へと優美な海岸が広がる。また、全国シェアの約70%を占める宗田節（メジカ節）の加工製品などがあり、清水サバをはじめ四季折々の新鮮な魚介類を堪能できる。そして、数奇な運命に翻弄されながらも、けっして希望を見失わず生き抜き日本の新しい時代を導いたジョン万次郎の出生の地でもある。</p> <p>このような土佐清水の魅力を広く県内外に発信し土佐清水市をもっと元気にするCMを地域住民と協働して作成する。</p>	

1 活動内容

(1) 万次郎のふるさと(土佐清水)の魅力を発掘しよう!(5月~7月)

◇ジョン万次郎資料館見学

日時: 5月30日(火)

場所: 土佐清水市養老303「海の駅あしずり」

学習内容: ジョン万次郎の生涯を知る。



郷土の偉人、ジョン万次郎については継続して学習している。今回は「ジョン万 SPIRIT」について考えるために、ジョン万次郎の生き方と「ジョン万 SPIRIT」を重ねて追究する学習内容とした。調べた内容は各自がまとめ参観日に保護者に向けて報告会を開催した。

◇宗田節工場見学

日時: 6月23日(金)

場所: 中浜地区(宗田節加工納屋3カ所)

学習内容: 土佐清水市の産業である宗田節加工場を見学し宗田節の魅力・思いを聞く。



プロの料理人から絶大な人気を誇る宗田節。商品に込めた生産者の思いを聞くことが今回の学習の目的となる。

◇足摺半島ヤブ椿についての学習(No.1)

日時: 5月2日(火)

場所: 足摺宇和海国立公園

学習内容: 足摺半島に群生するヤブ椿について学習しよう。



足摺半島の観光資源であるヤブ椿の群生が、メダケによって脅かされていることを児童は初めて知る。近年竹製品の需要が減少したこともメダケの発生に原因があるようだ。講師は環境省自然保護事務所の職員の皆さん。足摺岬を歩き雄大な太平洋を満喫する。

◇足摺半島のヤブ椿についての学習(No.2)

日時: 6月19日(月)

場所: 足摺宇和海国立公園

学習内容: 足摺岬の観光の目玉であるヤブ椿の群生地がメダケに脅かされていることを知る。

◇足摺半島のヤブ椿についての学習(No.3)

日時: 11月6日(月)

場所: 足摺宇和海国立公園・唐人駄場遺跡

学習内容: ヤブ椿の種を採取して定植する。

ヤブ椿の咲く岬の環境を守るには、そのまま放置するのではなく、環境を守る努力や工夫が必要であることを学ぶ。土佐清水市観光ガイドの富田さんに話を聞く。



【メダケが増えた理由を聞く】

【メダケの採集】

【椿の実を採集する】

【種を取り出し洗って定植】

**年間通しての体験学習**

土佐清水市の魅力を「自然: 足摺岬のヤブ椿」「産業: 宗田節」「偉人: ジョン万次郎」とし、その魅力をコマーシャルにしていこうと話し合い決定する。



(2) コマーシャルについて学習しよう！(9月～11月)

◇コマーシャルってどんなにつくるの？

◇絵コンテを作成しよう。

日時：9月～11月

講師：埜下安弘氏(黒潮ケーブルテレビ)



コマーシャルの基本について講師から学ぶ。土佐清水市の魅力を発信するためにコマーシャルの構成を絵コンテにしイメージする。みんなで考えたストーリーは『登校中、ジョン万次郎らしき人を発見。みんなでジョン万捜索隊を結成して行方を追う。ジョン万が時を超えて現代にきた理由とは…。』と、ジョン万と宗田節をコラボさせた内容となった。

(3) みんなでコマーシャル撮影

◇コマーシャル撮影【中浜・大浜地域住民と一緒に】11月2日(木)

◇コマーシャルの投入歌を歌おう。12月14日(木)



地域のおじちゃんおばちゃんがエキストラで参加。地域に笑顔があふれる。撮影最終日は、学校の屋上で埜下さん作詞作曲の「あたらしい道」を歌うシーンの撮影。

(4) 「第6回中浜小ジョン万ふれあい祭り」でコマーシャル制作発表(1月27日)



「第6回中浜小ジョン万ふれあい祭り」には、市内外から320名を超す参加を得てにぎやかに開催できた。タレントのビビる大木さん(ジョン万資料館名誉館長)が来校しジョン万について語る。対談相手は高知県教育センター企画監の垣内守男氏。「みんなで来てや!まるごとCM」を放映し会場は笑顔と拍手に包まれた。ビビる大木氏からも「地域と一体感があっていい作品」と感想をいただいた。

2 成果と課題

今ある教育資源を生かし、今行っている取り組みを体系化することで、無理なく「地域と共にある学校づくり」が実現できるのではないかと考える。今回のプロジェクトはその一環である。

「みんな来てや!まるごと土佐清水『万次郎ふるさとCM』」は(地域を元気にしたい、これまで助けてくれた地域に恩返ししたい)その一念で、地域の産業である宗田節と郷土の偉人中濱万次郎をコラボさせたCMを作成した。作成にあたっては、貴社の助成金のご協力と外部人材の専門性及び専門機材等がなければ実現できない活動だった。

一学期はCM作成の土台となる土佐清水市の資源についての調査期間とした。【自然=足摺岬のヤブ椿、産業=宗田節、偉人=中濱万次郎(ジョン万次郎)】と調査する内容を3点に絞り学習に取り組んだ。

学習前の児童の実態は、ふるさとの良さを「自然が豊か」と表現するが、「具体的には?」と問われると十分答えることができなかった。ふるさとの魅力は身近にあり過ぎてわからないものなのかも知れない。そこで今回の学習を通して、ふるさとの良さを再発見し、ふるさとを誇りに思う子ども達に育てたいと考えた。また、地域と協働したCM作成に取り組むことで、今後学校が目指す「社会に開かれた教育課程」としてもこの取組は提案性のある内容だったと思うと同時に何より、地域・家庭・関係機関と協働した取組であったことが成果といえる。

学校は自らの限界も認識した上で、連携・協働できる部分は積極的に連携していくことが必要だと思う。そうすることで、地域の学校に対する関心も高まり学校を応援する立場へとシフトする。今後も「地域の学校」として誰もが笑顔になれる学校・地域作りに努めていきたい。